

## 南関東ブロック会議（令和4年10月26日・千葉県：京成ホテルミラマーレ）

参加者は約130名。はじめに、佐藤隆志千葉県理事の司会により、竹井透千葉県副会長が開会の言葉を、矢部明千葉県会長が開催県を代表して歓迎の言葉を述べた。続いて、多忠貴全専各連副会長・南関東ブロック長、福田益和全専各連会長がそれぞれ挨拶を述べ、その後、来賓の穴澤幸男千葉県副知事、山谷えり子参議院議員、赤池誠章参議院議員から挨拶を頂戴した。最後に、佐藤隆志千葉県理事より来賓、行政関係者、全専各連、各協会会長等代表者の紹介が行われ本会議に入った。

第一に、文部科学省報告が行われ、中安史明文科省専修学校教育振興室長から「専修学校をめぐる最近の動向」として、令和5年度専修学校関係予算概算要求(案)、令和4年度専修学校関係予算、新型コロナウイルス感染症への対応、専修学校#知る専、大学入学者選抜実施要項（高等専修学校修了生の出願資格に係る記載についての明確化）、職業実践専門課程等を通じた専修学校の質の保証・向上（専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議）、リカレント教育、高等教育の就学支援新制度、高等教育を軸としたグローバル政策の方向性、学校法人制度改革の具体的方策等について説明が行われた。第二に、全専各連事務局より、全専各連活動状況報告として、教育未来創造会議第一次提言、職業実践専門課程認定校への地方財政措置（特別交付税）の拡充、修学支援新制度の見直し（中間層への支援の拡大と要件の厳格化）の動向について説明が行われた。第三に、「各都県行政報告」についての説明（資料参照のみ）が行われ、休憩後、分科会が開催された。

第1分科会では「今後の日本語学校における留学生の受け入れ動向」をテーマに学校法人新井学園赤門会日本語学校の新井永鎮常務理事を講師として、留学生の現状や今後について講演がなされた。続いて事例発表として、学校法人日栄学園専門学校日本自動車大学の矢部光範教頭・工学博士による「技術力・コミュニケーション能力向上のための当校の取り組み」、学校法人三橋学園船橋情報ビジネス専門学校の鳥居高之理事長・校長による「専門学校の社会的信頼と募集について」の発表が行われた。

また、第2分科会（高等課程分科会）では「私立高等学校同等の経常費補助支援を求めて 国に特別交付税の要望—経緯と今後の活動に関して—」をテーマに、清水信一全国高等専修学校協会会長を司会・進行として進捗状況の報告、文科省も交えた意見交換が行われた。

各分科会終了後、再び一同に会して分科会報告が行われた後、伊東政信埼玉県会長が次期主催協会挨拶を行い、鳥居高之千葉県副会長が閉会の言葉を述べて会議を閉会した。